

大阪全停止。
その鍵を握るのは、
トヨタミの末裔だった。

プリンセストヨタミ

PRINCESS TOYOTOMI

堤真一 綾瀬はるか 岡田将生 ・ 中井貴一
沢木ルカ 森永悠希 笹野高史 和久井映見

原作：万城目学「プリンセス・トヨタミ」（文藝春秋刊） 脚本：相沢友子 音楽：佐橋俊彦 監督：鈴木雅之

エンディング・テーマ：「Princess Toyotomi～永遠の絆」ケルティック・ウーマン（EMIミュージック・ジャパン）

製作：亀山千広 堤田泰夫 島谷能成 企画：石原 隆 後援：市川 南 プロデューサー：土屋 健 稲葉 匠人 前田 改司 アソシエイトプロデューサー：矢野 浩之 ラインプロデューサー：向井 達夫

撮影：佐光 朗 照明：加藤 弘行 録音：神澤 潔 美術：荒川 淳彦 美術デザイナー：吉田 孝 編集：田口 祐也 VFXスーパーバイザー：石井 敬雄 演出：藤村 貴孝 音響効果：柴崎 憲治 スタylist：伊賀 大介 スクリプター：戸田 歩 助監督：長瀬 国博 制作担当：古野 忠司 美術プロデューサー：竹村 隼人

製作：フジテレビジョン 関西テレビ放送 東宝 制作プロダクション：楽映舎 制作協力：東映京都撮影所

配給：東宝

©2011 フジテレビジョン 関西テレビ放送 東宝

www.princess-toyotomi.com



いま明らかになる、歴史を覆す真実。 驚天動地のエンターテインメントが、幕を開ける!



7月8日金曜日、午前4時——大阪が全停止した。

遡ること4日前の月曜日。東京から大阪に三人の会計検査院調査官がやって来た。税金の無駄遣いを許さず、調査対象を徹底的に追い詰め“鬼の松平”として怖れられている、松平元(堤真一)。その部下で、天性の勘で大きな仕事をやってのけた“ミラクル鳥居”と呼ばれている、鳥居忠子(綾瀬はるか)。日仏のハーフでクールな新人エリート調査官、旭ゲーンズブル(岡田将生)。三人は順調に大阪での実地調査を進め、次の調査団体のある空堀商店街を訪れる。

その商店街には、ちょっと変わった少年少女がいた。お好み焼き屋「太閤」を営む、真田幸一(中井貴一)と竹子(和久井映見)夫婦の一人息子・真田大輔(森永悠希)は、「女の子になりたい」という悩みを抱えていた。その幼馴染・橋場茶子(沢木ルカ)は、大輔とは対照的に男勝りで、いつも大輔を守ってきた。

そんな空堀商店街を訪れた調査員一行は、財団法人「OJO(大阪城趾整備機構)」に不審な点を感じる。徹底的な調査を重ねるも、経理担当の長曾我部(笹野高史)のにらくりりとかわされる。諦め始めた鳥居も「これでOJOが嘘をついているとしたら、大阪中が口裏を合わせていることになってますよ」と不満をもらす。そのとき、松平の脳裏にある考えがひらめいた。「そうだ、大阪のすべての人間が口裏を合わせている！」意を決して、再び「OJO」を訪れた松平の前に現れたのは、お好み焼き屋「太閤」の主人・真田幸一だった。そして、発せられた幸一の言葉に松平は耳を疑った。「私は大阪国総理大臣、真田幸一です」



会計検査院とは——国家予算が正しく使われているかを調査する機関。行政・立法・司法の三権のいずれにも属さず、あらゆる国家権力の影響から超然としてたずむ独立機関である。調査対象は各省庁から国会、裁判所、助成金を受けている地方団体にまで及び、その数3万超。調査官たちが書面検査と実地検査によって調査を行い、不適切と判断されると、検査報告を公表され改善処置を要求される。ただし、強制捜査の権限は持たない。

5.28 Roadshow



劇場内での映画の
撮影・録音は犯罪です。
映画監督の情報は
www.eigakan.org
0120-550098